

県立図書館だより

令和7年7月

青森県立図書館報 第52号

青森県近代文学館 特別展「棟方志功と青森の文人たち」



棟方志功「津川武一著『生けるしるし』装幀原画」

青森県近代文学館の今年度の特別展（7月19日～10月19日）は、「棟方志功と青森の文人たち」と題し、今年没後50年を迎える棟方志功と青森の文人たちとの繋がりを、様々な資料や文章と共に紹介します。

目	次
特別展「棟方志功と青森の文人たち」	1～2
参考・郷土室からのおしらせ	3～5
ご存じですか？この人・この資料～郷土資料の紹介～	6
ようこそ文学館へ！近代文学館資料の紹介	7
図書館利用に関するアンケート集計結果	8～14
一般室みみより情報	15
図書館の利用案内	16

特別展「棟方志功と青森の文人たち」

今年没後50年を迎える青森市生まれの版(板)画家・棟方志功は、版(板)画家としての原点が文学にあり、文人たちと広く関わりを持っていました。

この展示では、棟方志功と青森の文人たちとの交流に由来する資料を展示し、棟方志功と文人たちの姿を浮き彫りにしていきます。

○会期：令和7年7月19日(土)～10月19日(日)

※会期中の休館日：7月24日、8月28日、9月10日、9月25日

○場所：青森県近代文学館 企画展示室(県立図書館2階)

○開館時間：9:00～17:00(観覧無料)

○講演会「言霊の人 棟方志功 ～文学者たちとの交流～」

日時：7月21日(月・祝) 14:00～15:30

場所：青森県立図書館4階集会室

講師：石井頼子氏

内容：棟方志功の令孫で、棟方志功研究者でもある石井頼子氏に、棟方志功と文学の関わりについて紹介していただきます。

参加無料

予約不要

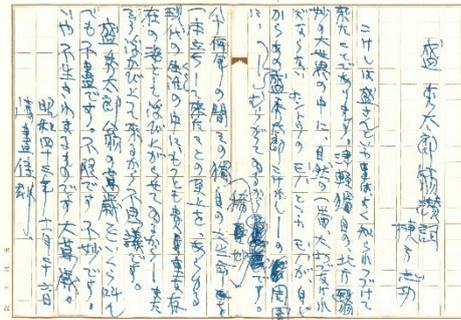


「青森版画」装幀原画

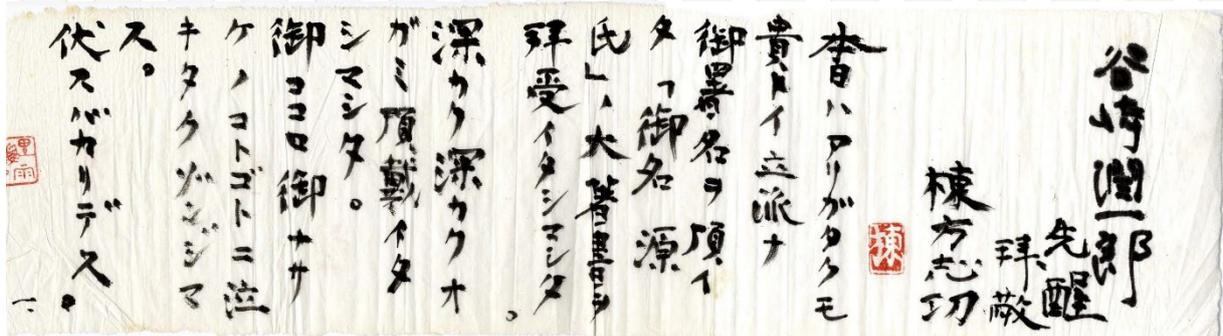
◆予定が変更となる場合がございます。最新の情報はホームページにてご確認ください。◆



「酸澁の柵」(「哀父頌」より)



原稿「盛秀太郎翁讃詞」



谷崎潤一郎宛書簡(昭和31年3月8日消印)

参考・郷土室からのおしらせ

オンラインデータベースを使ったことはありますか？

皆さんのなかには、参考・郷土室でレファレンスサービス（利用者の求めに応じ、解決に役立つ資料の紹介や情報を提供するサービス）や相互貸借サービス（必要な図書が当館にない場合は、ほかの図書館から取り寄せて読むことができるサービス）などを利用された方も多いと思いますが、今回は、インターネットを利用して新聞記事や法令情報などを検索、閲覧できるサービスをご紹介します。

新聞・雑誌

当館には、いわゆる3大紙と呼ばれる『読売新聞』、『朝日新聞』、『毎日新聞』の記事などを検索できるオンラインデータベースがあります。これらを使うと各紙の一面や社会面の記事はもちろん、地方版の記事も「キーワード」で検索することができます。

例えば、人口減少対策の一つとして「移住」者を増やすため、全国ではどんな取り組みを行っているのか、自分たちの地元を盛り上げるにはどうしたらいいかを調べるために、キーワード「移住」で検索すると、次のような記事が見つかります。

<県移住者 最多846人 昨年度 若者向けPR奏功> 2024年度に三重県内への移住者数が過去最多を更新した旨の記事です。

市町の独自の取組として、御浜町（みはまちょう）では、「移住」と「就農」をセットにして新規就農者を呼び込んでいるとのこと。ミカン農家として独立を目指すため、町が、約2年間の研修プログラムを行い、耕作放棄された畑を活用して早期の収益化を図り、年平均で10世帯程度が町内に移住したそうです。

（2025年6月27日付け読売新聞中部朝刊北勢P21 筆者要約）

このような記事を基に、ご自身で関連情報にアクセスしたり、当館のレファレンスサービスや相互貸借サービスなどをご利用いただければ、より詳しい資料の紹介や情報提供を受けることができます。

◆ヨミダス（『読売新聞』ほか／読売新聞社）

1874年の創刊号から現在までの『読売新聞』記事のほか、読売新聞社が発行する日刊英字新聞『The Japan News』（1989年～最新号）も収録。2011年8月以降の主な英文記事は邦文記事と対比しながら読むことができる。

📖 今、日本で話題となっている食や文化などの魅力を外国の方へ英語で伝える際のツールとしても活用できるのではないのでしょうか？

◆朝日クロスサーチ（『朝日新聞』ほか／朝日新聞社）

1879年の創刊号から現在までの『朝日新聞』記事のほか、雑誌『AERA』（1988年5月24日～最新号）や『週刊朝日』（2000年4月7日号～2023年6月9日休刊号）の記事も検索、閲覧可能。

☞ 『AERA』は硬軟幅広いジャンルのテーマを扱っている雑誌なので、新聞よりも深く掘り下げた記事が見つかるかもしれません。

◆毎索（まいさく）（『毎日新聞』ほか／毎日新聞社）

1872年の創刊号から現在までの『毎日新聞』記事のほか、雑誌『週刊エコノミスト』の記事（1989年10月31日～最新号）も検索、閲覧可能。

☞ 創刊102周年の『エコノミスト』。経済、金融に関する情報が豊富です。

※各紙とも、都道府県ごとに発行している地域面（地方版）の収録期間は、本紙の収録期間とは異なります。）

法 令・官 報

多様化する消費者問題、SNSを使った犯罪や詐欺、交通事故、隣地トラブルなど私たちに身近な法律問題について、第一法規株式会社が提供するデータベースを活用すれば、過去の類似の裁判ではどのような判断がなされたかなどを調べることができます。

また、官報情報検索サービスでは法令などの改正に関する情報のほかに、日本工業規格の改正、最低賃金の改正の公示、地価公示なども容易に検索できますので、ビジネスにも重宝します。

◆DI-Law.com（第一法規株式会社）

現行の法令を収録した「現行法規」、明治以降の公刊判例を整理・分類した「判例体系」、法律に関する図書、雑誌記事等が掲載された「法律判例文献情報」等を検索・閲覧することができる。

◆官報情報検索サービス（国立印刷局）

1947年5月3日（日本国憲法施行日）分から直近までの官報の内容を収録しているデータベース。2025年4月から官報が電子化され、インターネットを利用できる環境があれば原則90日間は無料で閲覧、ダウンロードすることができるようになったが、「キーワード」や「日付」で検索できるのが「官報情報検索サービス」の特徴。

農 業・食 文 化

月刊誌「現代農業」などを発行する一般社団法人農山漁村文化協会（農文協）が運営する「ルーラル電子図書館」では、「現代農業」の電子版の閲覧はもちろん、「病虫害・雑草・鳥獣害の総合目次」から病虫害などによる被害を調べることができます。例えば、データベース上の写真とご自身の作物の状態を見比べ、当

ではまる症状などを選択していくと、何の病虫害による症状か、またその対策などを調べることができます。

また、単に生産に関する情報だけでなく、日本全国の5万点を超える料理が収められている「日本の食生活全集データベース」が収録されており、今、残しておかなければ失われるかもしれない貴重な記録に触れることができます。

例えば、「季節のおすすめ記事」には宮崎県の郷土料理「冷や汁」が掲載されていました。

◆ルーラル電子図書館（一般社団法人農山漁村文化協会）

農文協が運営する農業情報提供サイト。農文協発行資料の閲覧ができるほか、栽培・飼育の技術、加工・販売のノウハウなど農業に関する多角的な情報を検索、閲覧することができる。

SNS やインターネットに加えてオンラインデータベースの情報も

昨今、SNSやインターネット上の偽・誤情報について取り上げられることが多くなっています。2025年5月、総務省がICTリテラシー実態調査の結果を公表しました。

(https://www.soumu.go.jp/main_content/001008791.pdf)

偽・誤情報を見聞きした人(844人)のうち、50%弱の人がその内容の真偽について「正しい」「おそらく正しい」情報だと思いと回答し、偽・誤情報を見聞きした人の約25%は何らかの形で拡散していたことがわかりました。

今回紹介したデータベースは、参考・郷土室のレファレンスサービスにも重宝しています。

皆さんもSNSやインターネットで得られる情報に加え、速報性、信頼性の高い情報を提供してくれるオンラインデータサービスを是非ご利用ください。



利用者用オンラインデータベース端末は、参考・郷土室エリアにありますので、利用を希望される際は、参考・郷土室カウンターへお越しください。お待ちしております。

このほか、「調べものに役立つリンク集」を当館ホームページで公開していますので、ぜひご利用ください。

(<https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/reference/pathfinder/index.html>)





青森県立図書館では、内容が青森県に関する主題となっている資料を「郷土資料」として収集しています。このうち、特に本県出身者や県内在住者の文化・芸術などに関する著作及び人物、著作に関する研究資料等を『郷人資料』と呼んでいます。

郷人資料の中でも、6月19日に桜桃忌を迎えた太宰治の人気は国内のみならず、海外でも翻訳された作品が多数出版され、当館でも収集しています。

今回は、外国語に翻訳された太宰治文学作品の一部をご紹介します。

《晩年》

『Mes dernières années』(Juliette Brunet, Yoko Brunet 訳 1997) ※フランス語

『만년(晩年)』(유숙자訳 2021) ※韓国語

初の創作集『晩年』は、昭和11(1936)年、砂子屋書房から初版500部で刊行されました。最近でも『ビブリア古書堂の事件手帖』(三上延著 2011)に『晩年』の初版本が物語の鍵として登場しています。

《津軽》

『Pays natal』(Didier Chiche 訳 1995) ※フランス語

『Home to Tsugaru』(Shelley Marshall 訳 2022) ※英語

昭和19(1944)年出版の『津軽』は、他にも中国語(簡体字、繁体字)や韓国語の翻訳が所蔵されており『津軽』『津轻』『쓰가루(スガル)』と、元のタイトルのままなのに対して、英語版を見ると『Home to Tsugaru』『Return to Tsugaru』と翻訳者によりニュアンスが違います。これらを比較してみるのも面白いです。

《斜陽》

『斜阳』(林少華訳 2015) ※簡体字中国語

『斜陽』(高詹燦訳 2021) ※繁体字中国語

昭和22(1947)年に出版された『斜陽』は人気を博し、上流階級が没落していく様子を指す「斜陽族」という流行語が生まれるほどの影響を及ぼしました。

《人間失格》

『Indigno de ser humano』(現代企画室 1999) ※スペイン語

『Osamu Dazai's NO LONGER HUMAN』(CHIKA ITOH 画 MAKIKO ITOH 訳 2023)

※英語(漫画)

昭和23(1948)年、太宰治が玉川上水で入水自殺を図り、数日後に遺体で見られた、その翌月に出版されました。『人間失格』の後に執筆していた『グッド・バイ』は未完であるため、完結した作品としては太宰治の最後の作品となります。

今回ご紹介した資料は、一般閲覧室の洋書コーナーにあり、いずれも貸出可能です。翻訳作品を図書館システムで探す際には「キーワード」の項目で、元のタイトルを検索してみてください。

ようこそ文学館へ！

近代文学館資料の紹介(第51回)

特別展「棟方志功と青森の文人たち」展示資料から

青森県近代文学館では令和7年7月19日から10月19日まで、特別展「棟方志功と青森の文人たち」を開催します。今回はその展示資料の中から、今回発見された棟方志功にとって最初に装幀した本とされる「星座圖(図)」第一巻第四号と、「盗人が仙女になる」(北畠八穂)装幀原画をご紹介します。

① 「星座圖(図)」第一巻第四号

青森市出身の世界的な版(板)画家・棟方志功は、数多くの本の装幀をしたことでも知られています。近年、表紙に志功の版画が用いられている詩誌「星座圖」第一巻第六号(昭和3年12月5日発行)が発見され、現在確認されている志功が装幀した本としては、最も時期が早いものとされていました。この発見を受けた当館の調査によって、「星座圖」第一巻第四号(昭和3年7月10日発行)と、第一巻第五号(昭和3年10月1日発行)が当館に収蔵されていることが判明しました。その後の調査により創刊号から第三号までは志功の装幀ではないという記述が確認されているため、現在確認されている限りでは、この「星座圖」第一巻第四号が志功にとって最初に装幀した本ということになります。



表紙に使用された版画は、それまで油絵を描いていた志功が版画を作り始めたとされる昭和2年の末頃から1年も経たないうちに作られた最初期のものです。詩誌「星座圖」は南津軽郡浅瀬石村(現 黒石市)出身の詩人・北山六智夫が南津軽郡野沢村(現 青森市・藤崎町)出身の詩人・對馬幹夫と発行した同人雑誌で、第一巻第四号は「櫻庭芳露第一詩集祝祭号」と題されています。弘前市出身の詩人・歌人の櫻庭芳露は上京した志功の近所に住んでおり、親交がありました。芳露は志功にも大きな影響を与えた弘前市出身の詩人・福士幸次郎に師事しており、芳露の第一詩集の跋文は幸次郎が著しています。また、志功が版画を始める際に相談した弘前市出身の版画家・下澤木鉢郎が装幀を担当しており、幸次郎と木鉢郎は「星座圖」第一巻第四号に芳露への祝辞を寄せています。

志功が「星座圖」の装幀を担当した経緯について、親交のあった芳露から頼まれたのか、幸次郎や木鉢郎の紹介があったのか、詳細は判明していませんが、画家になる夢を抱いて上京した志功が同郷の文人たちとの繋がりの中で文学に携わっていったことが伺える資料です。

② 「盗人が仙女になる」(北畠八穂)装幀原画

志功生誕の翌月に同じ青森市で生まれた児童文学者・北畠八穂は、親類が志功の近所に住んでいたため、幼少期に志功と一緒に遊んだことがありました。昭和32年、志功は別荘兼アトリエ「雑華山房」を鎌倉山に構えますが、これは鎌倉山に住んでいた八穂の紹介があったそうです。以降は互いに往来し、志功の妻・チャも交えて気兼ねなく津軽弁で会話をしていたようです。

八穂の作品の挿絵や著書の装幀を志功が引き受けることも度々ありました。この志功直筆の挿絵と題箋が用いられた「盗人が仙女になる」は、昭和29年3月27日の「読売新聞」に掲載された童話で、貧しい少女と心優しい少年の交流が描かれています。

当時「読売新聞」には一話完結の童話が掲載されており、様々な作家の作品が挿絵付きで掲載されていました。志功は他にも八穂の「新しいドラゴン」や「ボーナス」の挿絵を担当しています。また、黒石市出身の秋田雨雀をはじめ、與田準一や武者小路実篤といった著名作家の作品の挿絵も手掛けました。



令和6年度青森県立図書館利用に関するアンケート集計結果について

青森県立図書館では、利用者の皆様の利用状況やご意見をお伺いし、今後の図書館サービスの向上に役立てるため、利用者アンケートを実施しました。アンケートにご回答いただいた皆さま、ご協力ありがとうございました。アンケートの集計結果をお知らせいたします。

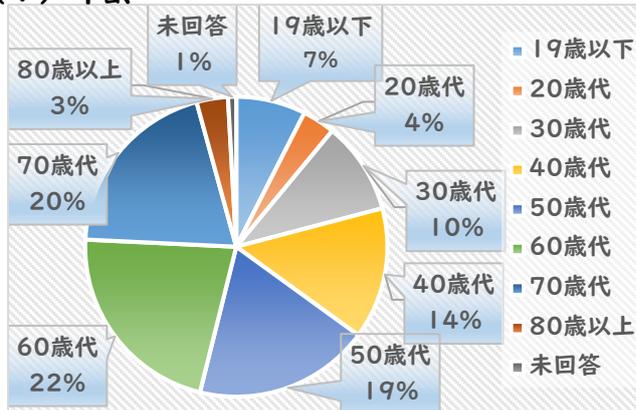
○実施期間：令和6年7月26日から令和7年3月31日まで

○回答数：685件

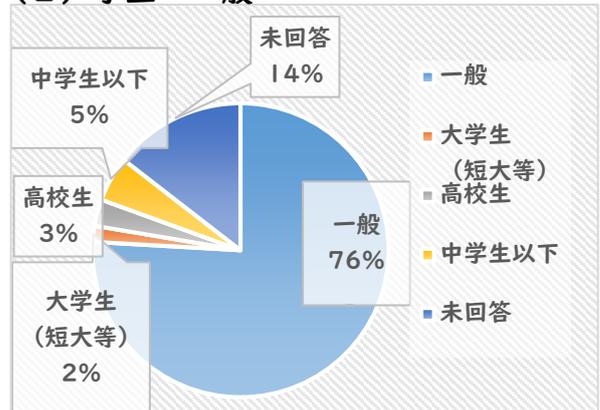
○回答方法：用紙552件・ホームページ84件・青森県電子申請システム49件

質問1 あなたご自身についてお伺いします。

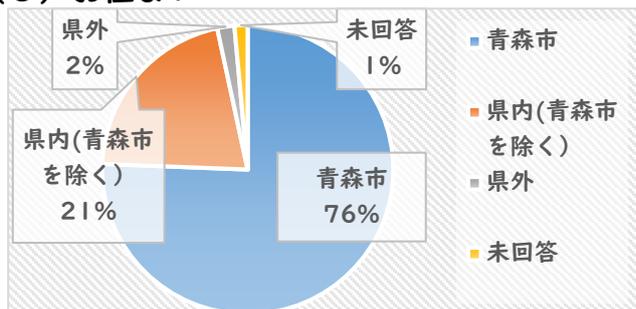
(1) 年齢



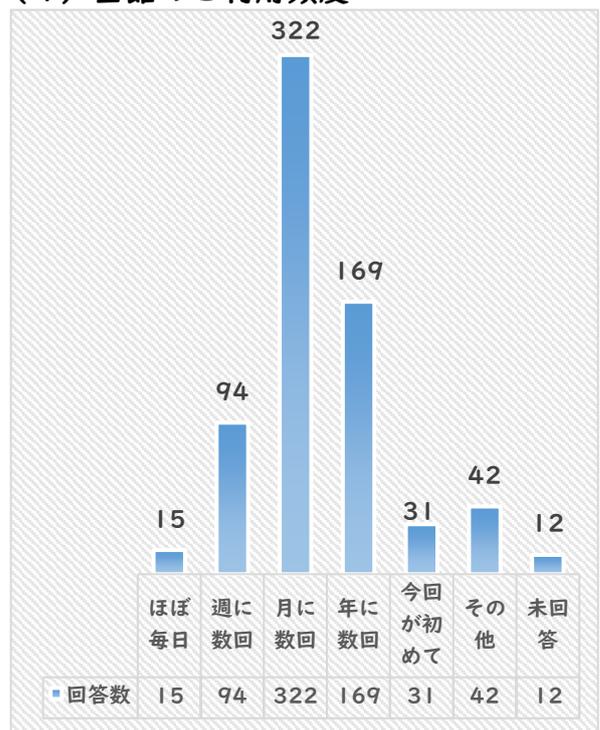
(2) 学生・一般



(3) お住まい



(4) 当館のご利用頻度



(5) 当館への来館方法 (複数選択)

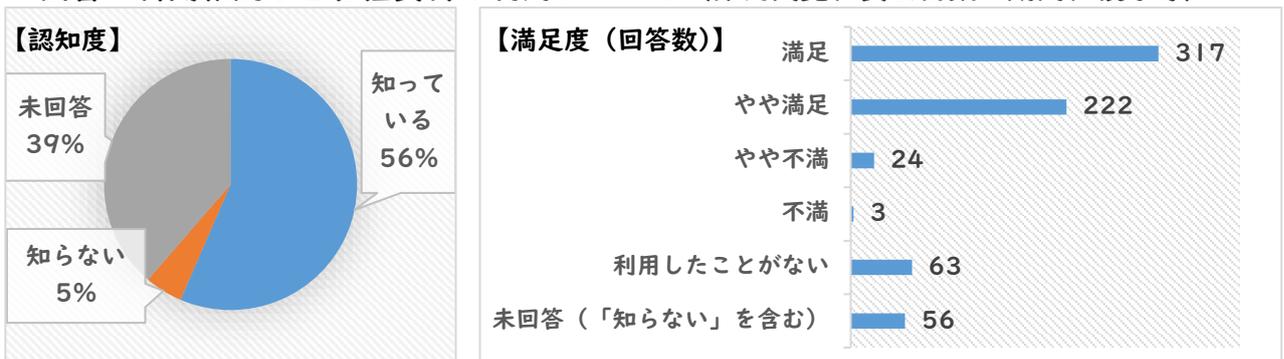


質問2 当館の利用目的は主に何ですか。(複数選択)

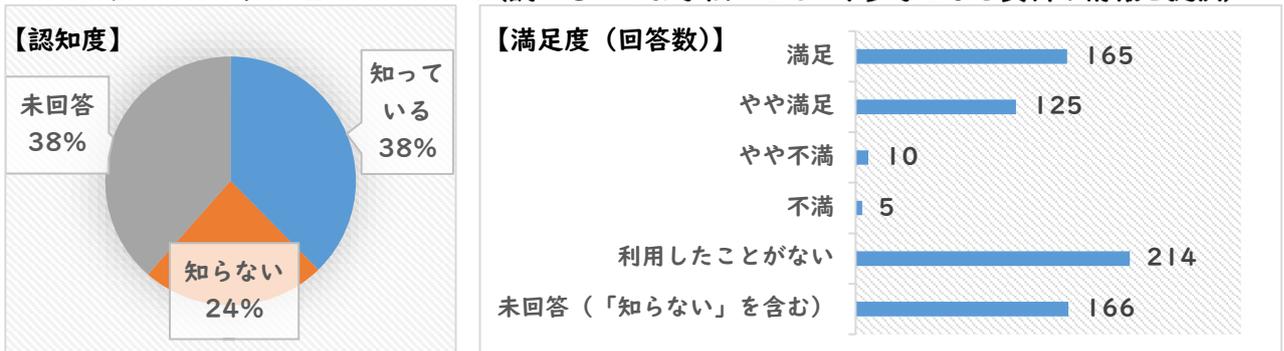


質問3 当館のサービスについて満足度を教えてください。

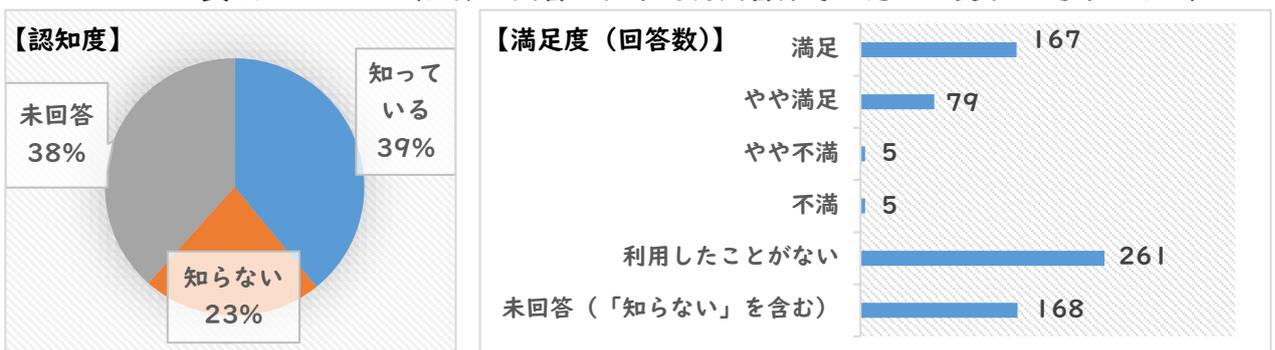
1 図書や新聞雑誌など各種資料の利用について(館内閲覧、貸出冊数・期間、複写等)



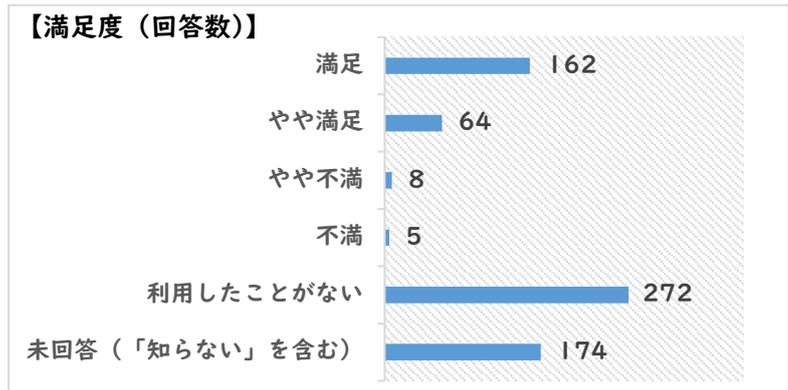
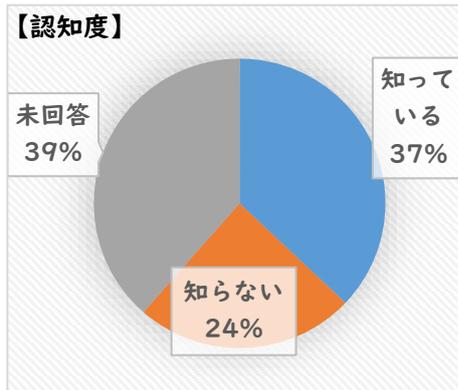
2 レファレンスサービスについて(調べもののお手伝いとして、参考となる資料や情報を提供)



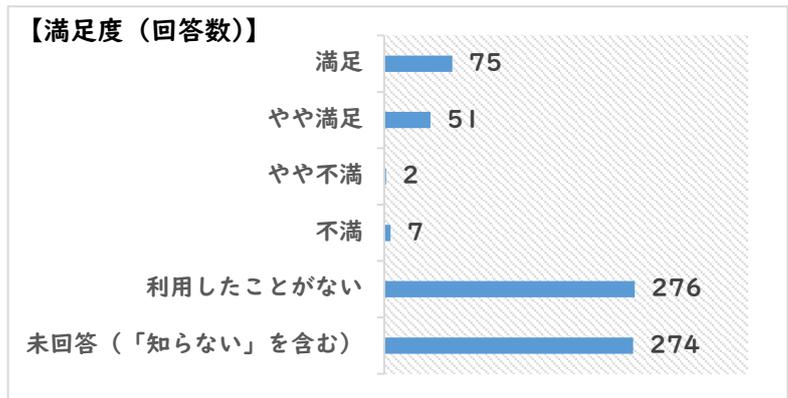
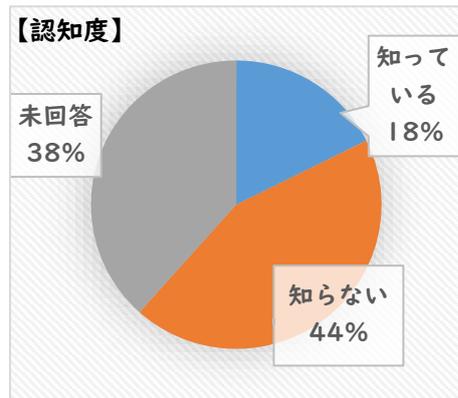
3 オンライン貸出サービス(当館の図書を、市町村図書館等の窓口で受取・返却できる)



4 遠隔地返却サービス（当館で借りた図書を、市町村図書館等の窓口に返却できる）

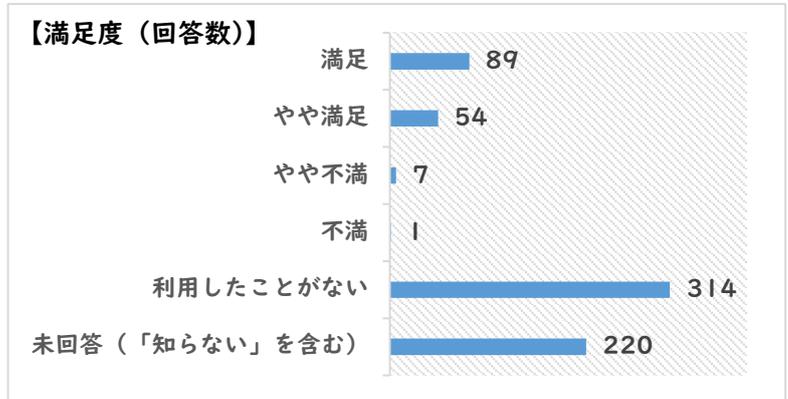
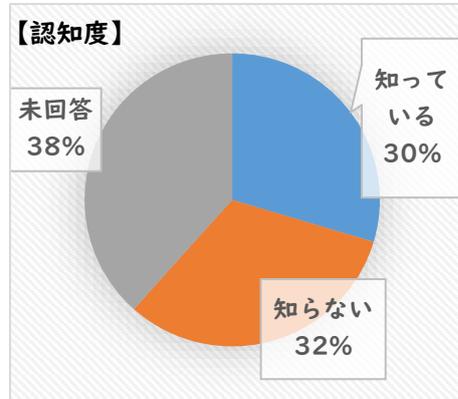


5 特別貸出サービス（原則として貸出禁止となっている資料の一部を、条件付きで貸出）



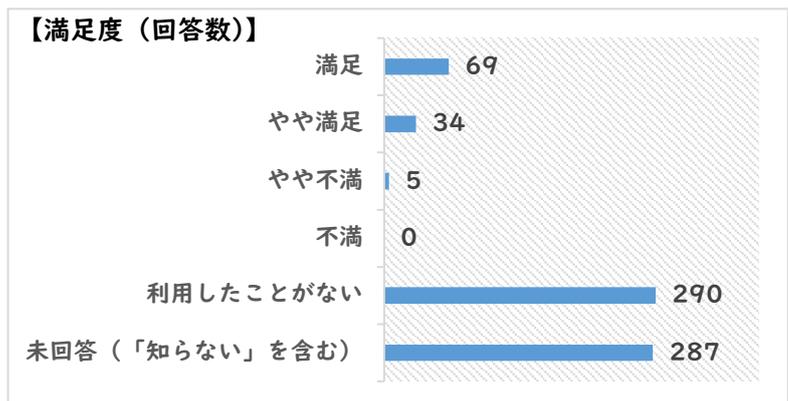
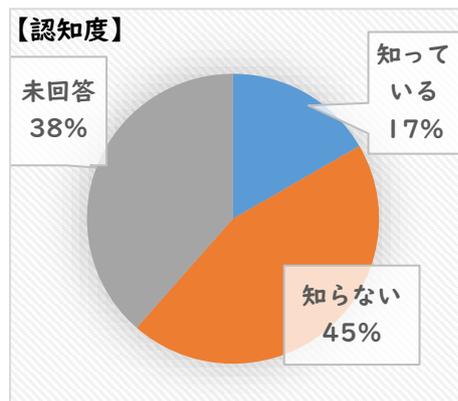
6 バリアフリーサービス

（大活字本、デージー図書、拡大読書器、音声読書器等を設置、盲導犬マークの導入）



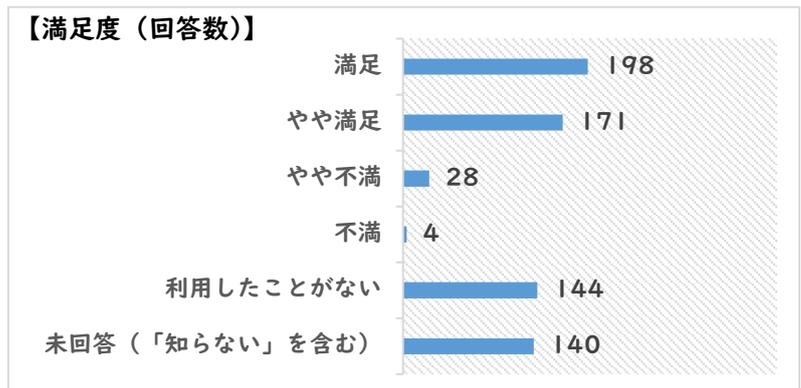
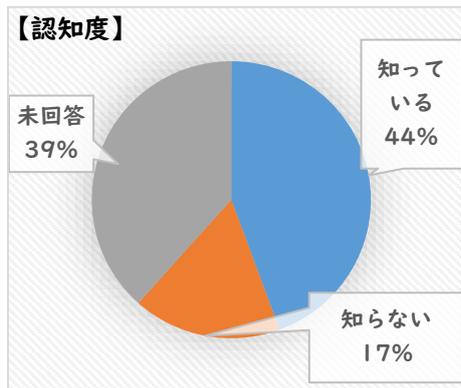
7 アウトリーチサービス

（心身に障がいがあるなどの事由により来館が困難な方へ、図書を往復宅配で貸出）

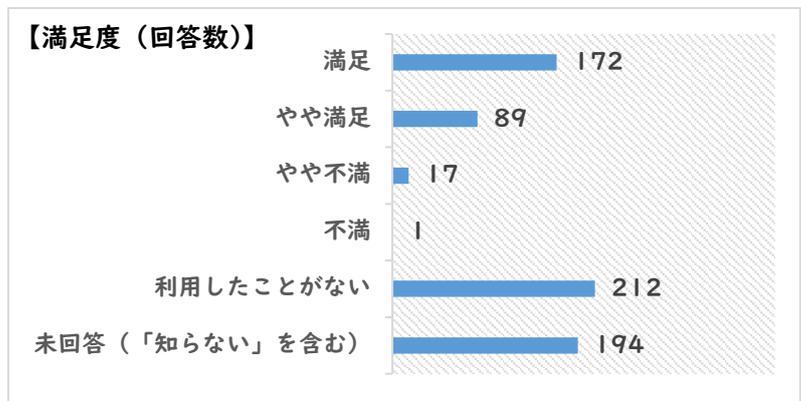
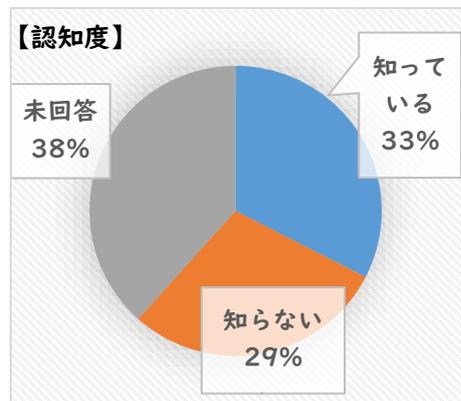


8 県立図書館ホームページの閲覧

(図書検索、イベント情報等ページ、展示情報、休館情報等)

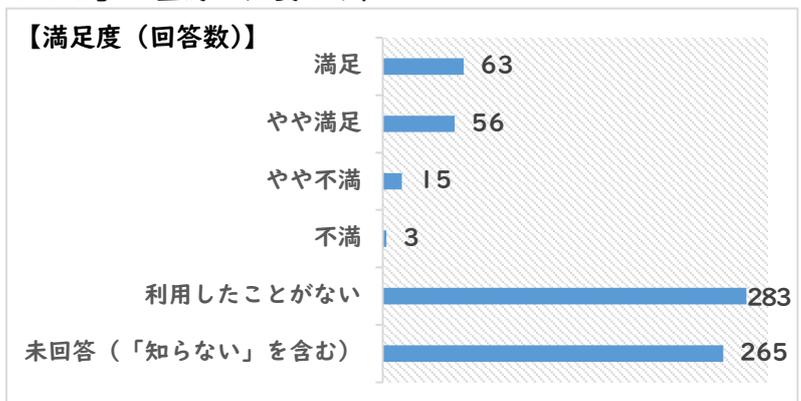
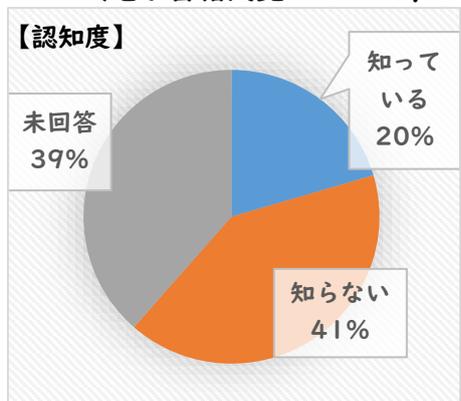


9 ウェブサービス「Myライブラリ」(貸出状況の確認、資料の予約、返却期限の延長等)

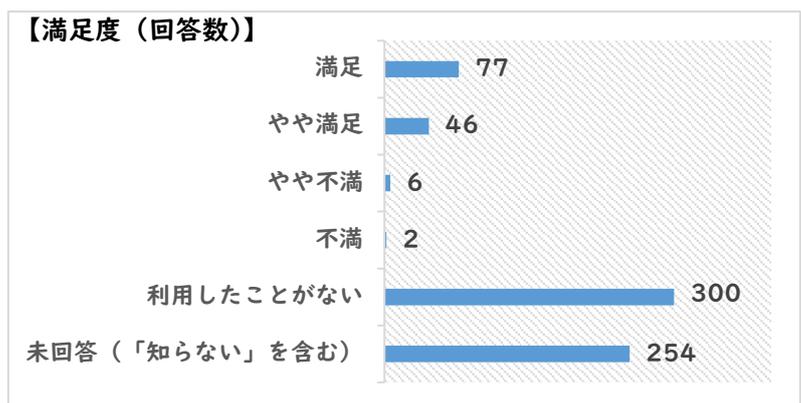
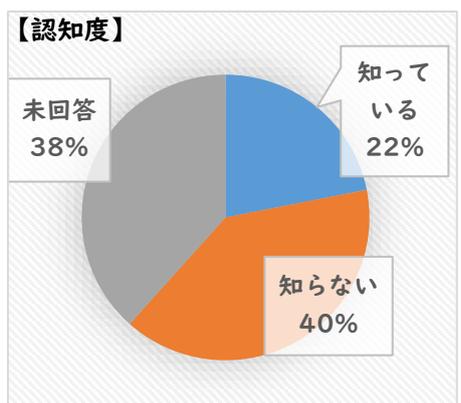


10 電子書籍閲覧サービス「KinoDen」

(電子書籍閲覧 ※「Myライブラリ」の登録が必要です)

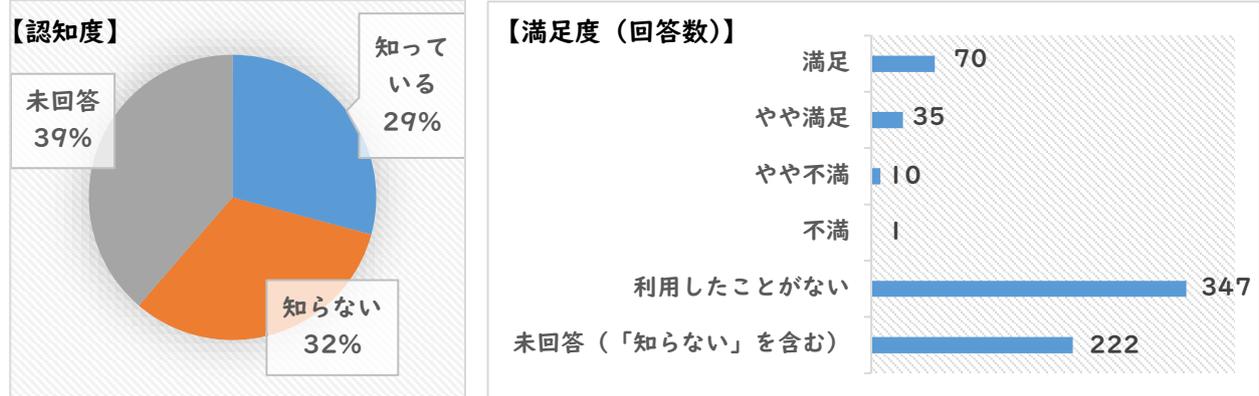


11 県立図書館デジタルアーカイブ (当館所蔵の歴史的資料をデジタル高詳細画像で閲覧)



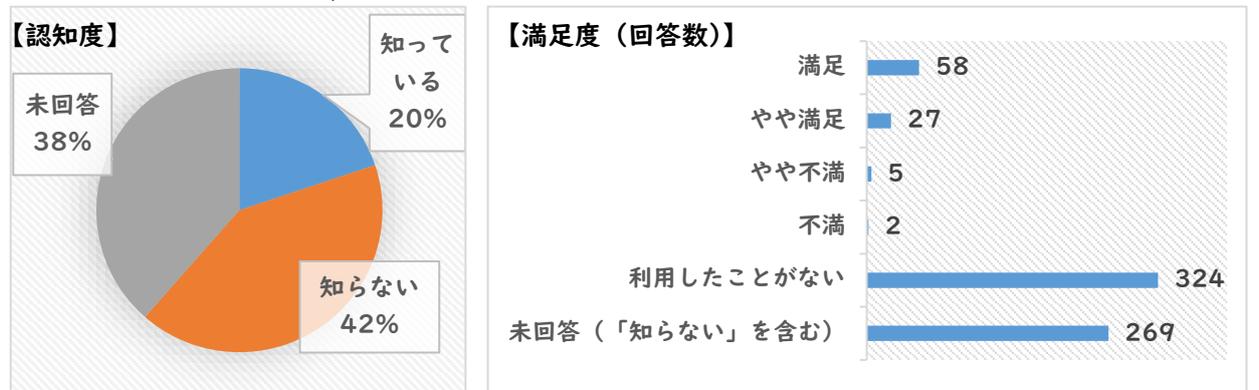
12 おはなし会

(毎月第2土曜日(全12回) 14時から14時30分に児童閲覧室で絵本の読み聞かせを実施)

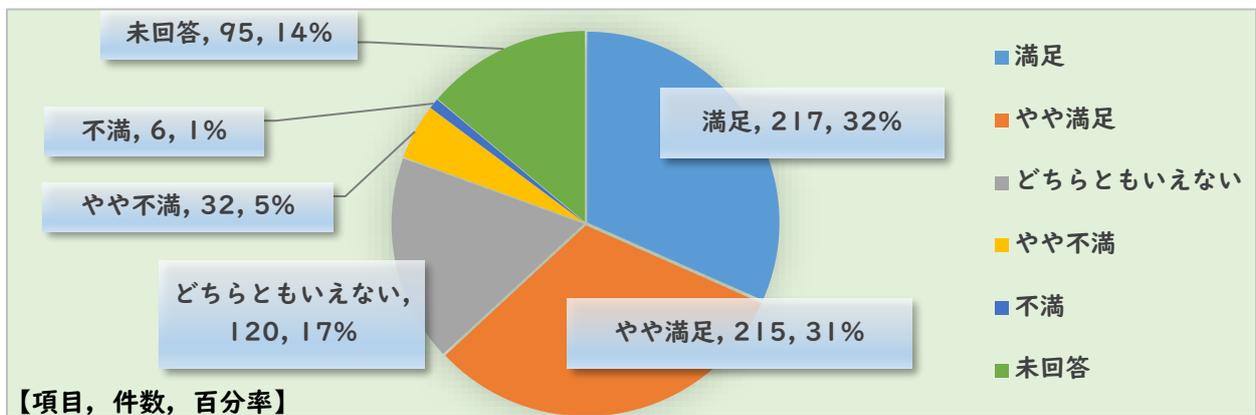


13 おしえて先生!知るしるする探検隊

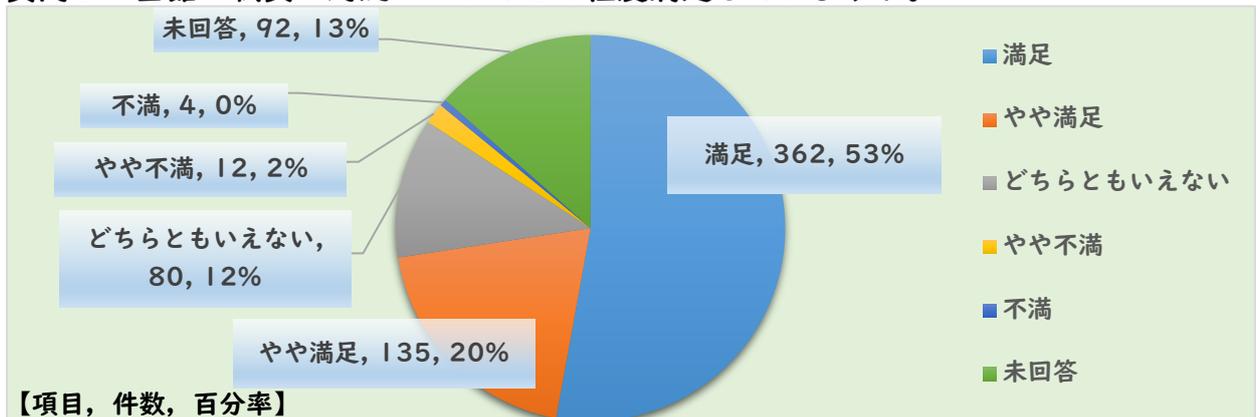
(毎月第4土曜日(12,3月を除く全10回) 14時から14時30分に、講師による職業講話等を実施)



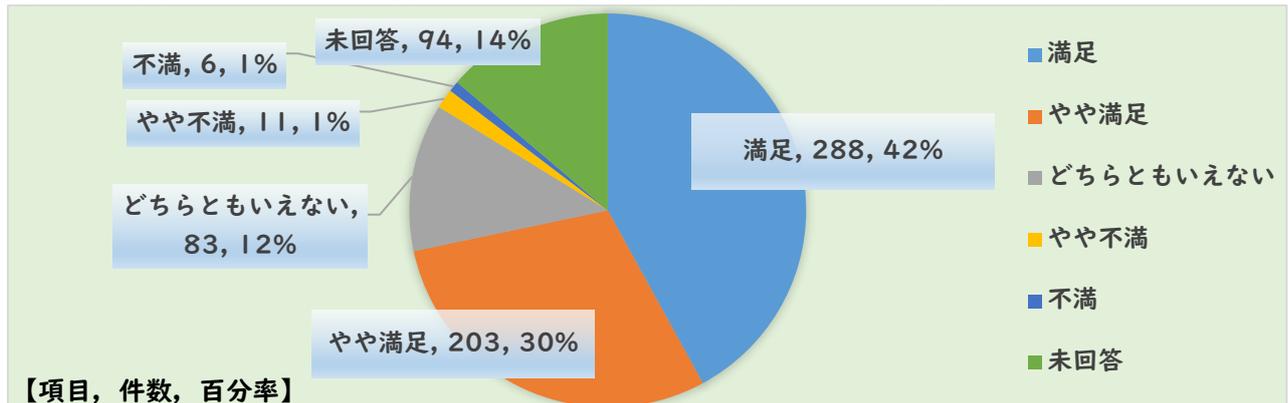
質問4 当館の所蔵資料についてどの程度満足していますか。



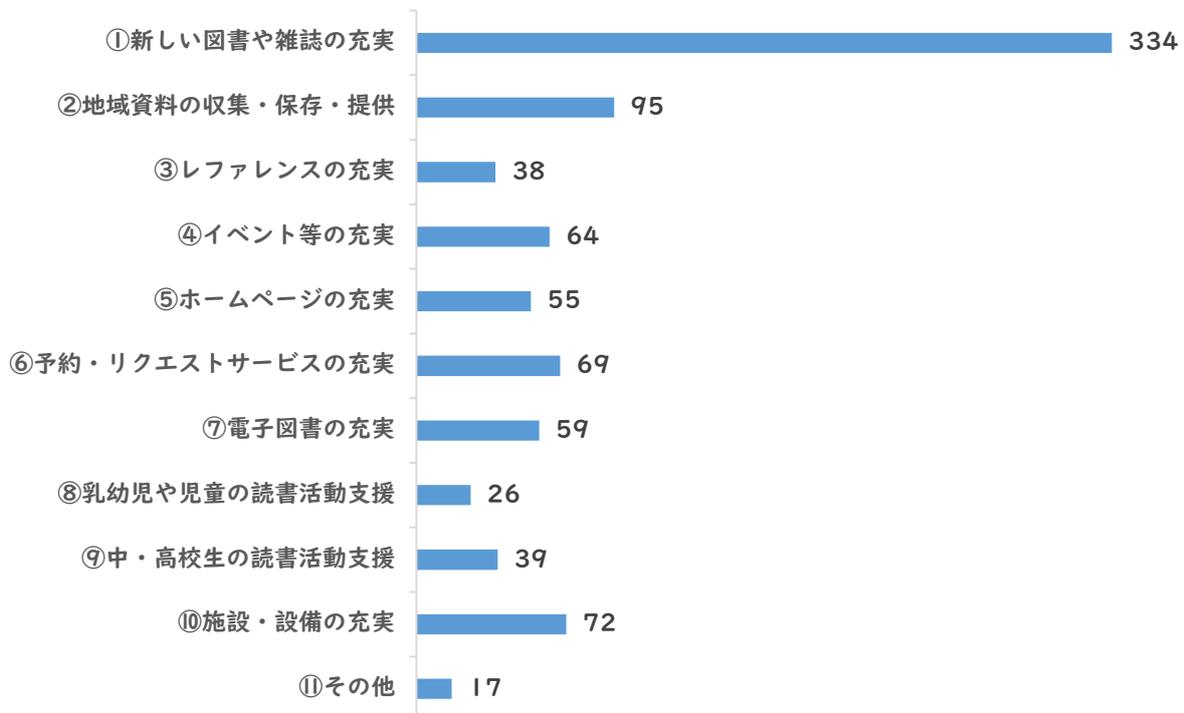
質問5 当館の職員の対応についてどの程度満足していますか。



質問6 当館のサービス全般についてどの程度満足していますか。



質問7 当館にもっと取り組んでほしいことを選択してください。また、当館にあったら良いなと思うサービスを教えてください。(複数選択)

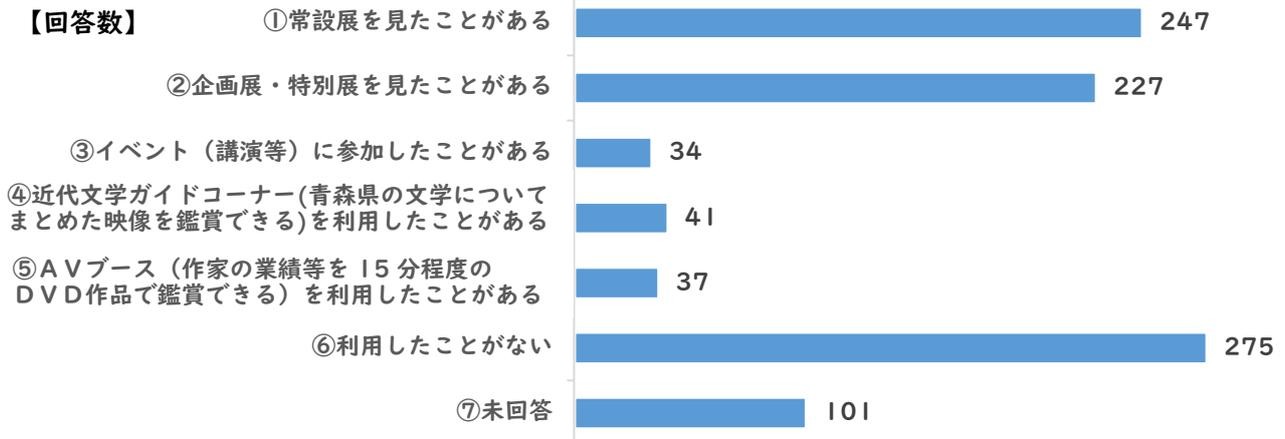


	①新しい図書や雑誌の充実	②地域資料の収集・保存・提供	③レファレンスの充実	④イベント等の充実	⑤ホームページの充実	⑥予約・リクエストサービスの充実	⑦電子図書の充実	⑧乳幼児や児童の読書活動支援	⑨中・高校生の読書活動支援	⑩施設・設備の充実	⑪その他
回答数	334	95	38	64	55	69	59	26	39	72	17

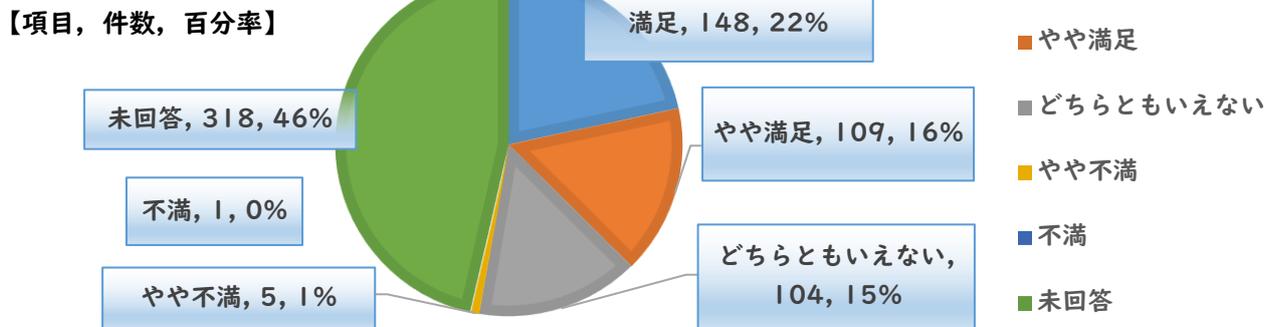
※自由記述から一部抜粋

- ・デジタルアーカイブ、郷土歴史研究。
- ・書庫の見学会を実施してほしい。どういう本があるのか知りたい。
- ・もっと本を読みたくなるようなイベントをやってみてはどうでしょうか。
- ・青森県が舞台の漫画や青森県出身やゆかりのある漫画家のコミックを置いてほしい。
- ・閲覧席がもっとあればうれしい。
- ・静かな音楽が場所によっては流れていてもいいのかな、と思う。

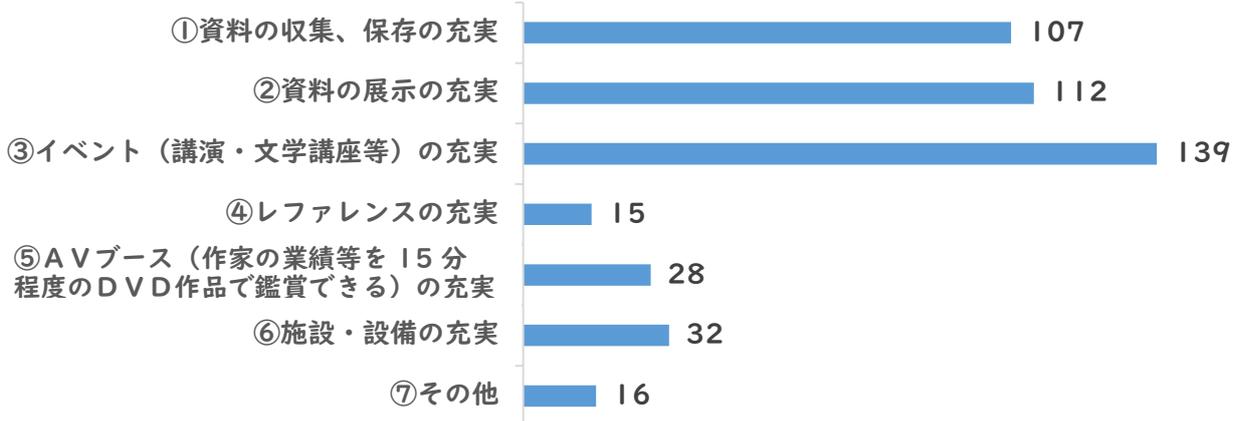
質問8 当館2階には、青森県にゆかりのある作家の文学資料を展示する「青森県近代文学館」があります。利用したことはありますか。(複数選択)



質問9 近代文学館を利用したことがある方は、近代文学館のサービス全般についての程度満足していますか。



質問10 近代文学館にもっと取り組んでほしいことを選択してください。また、近代文学館にあったら良いと思うサービスを教えてください。(複数選択)



	①資料の収集、保存の充実	②資料の展示の充実	③イベント(講演・文学講座等)の充実	④レファレンスの充実	⑤AVブース(15分程度のDVD作品で鑑賞できる)の充実	⑥施設・設備の充実	⑦その他
回答数	107	112	139	15	28	32	16

※自由記述から一部抜粋

- ・青森県出身の作家の紹介をもっとしてほしい
- ・歴史と文学など、背景を知りたいです。

一般室みみより情報 (第4回)



今回は、「貸出冊数・返却」についてご紹介します。

貸出(本を借りる)

本を借りるには、利用者カードが必要です。借りたい資料と利用者カードをカウンターへお持ちください。

資料の種類	貸出点数	貸出期間	延長
本	合計10点まで	2週間	○
CD・DVDなど			×
雑誌(バックナンバー)	上限なし	1週間	×

- ・一部、閲覧室内でのみご利用いただく資料があります。
- ・借りている本に予約がない場合、貸出期間を1週間延長できます。(最大2回まで。)返却期限の3日前からホームページ※・電話※・カウンターで申し込みできます。
※ ホームページで延長を行うには、「Myライブラリ」のパスワード発行が必要です。
※ 一般室カウンター直通 017-729-4300
- ・資料の貸出等には利用者登録が必要です。運転免許証等、氏名と現住所が確認できるものをお持ちのうえ、カウンターでお申し込みください。
- ・郵送、電子申請でもお申し込みいただけます。詳しくは、ホームページをご覧になるか、カウンターでお尋ねください。

返却(本を返す)

- ・返却は、カウンターまたはブックポストへお願いします。
- ・ブックポストは「青森県立図書館正面玄関脇」及び「県庁北棟西側歩道脇」にあり、開館時間外や休館日にも返却できます。
- ・視聴覚資料、紙芝居、大型絵本など破損のおそれがある資料や、他の図書館から借用した資料は、カウンターへ直接お返しくください。
- ・資料を紛失、汚・破損した場合は、弁償していただく場合があります。

※ブックポスト、遠隔地返却サービス、オンライン貸出サービスをご利用される方へ。

ブックポストや、協力館へ返却した時点では返却が完了した状態ではありません。当館へ搬送され、県立図書館で返却処理を行うまでは返却完了になりませんので、ご注意ください。Myライブラリ上のデータも同様に、県立図書館で返却処理を行うまでは貸出状態になっておりますのでご了承ください。

おすすめトピックス

青森県立図書館の閉館時メロディーについて。
「輝く笑顔推進キャンペーン」子どもの夢・未来応援メッセージソングとして製作された曲を流しています。「子どもの夢・未来応援メッセージ動画」はYouTubeにて、公開中です！下記URLより、情報をご確認できます。

[2022message-calender8.pdf \(aomori.lg.jp\)](#)

◇タイトル:「笑顔の未来へ」 ◇歌:さくらしめじ ◇作詞・作曲・編曲:中村瑛彦

令和7年度利用案内

開館時間

- ◆一般閲覧室 9:00～19:00
- ◆参考・郷土室 9:00～19:00
- ◆児童閲覧室 9:00～17:00
- ◆近代文学館 9:00～17:00

貸出点数・期間

- ◆点数：10点まで
※CDなどの視聴覚資料を含みます。
- ◆期間：2週間
※予約が入っていない場合、1週間の期間延長ができます。予約の有無は一般閲覧室へお尋ねください。

児童閲覧室の行事

- ◆おはなし会
第2土曜日 14:00～14:30
- ◆おしえて先生！知るしるする探検隊
第4土曜日 14:00～14:30
(12、3月を除く)

近代文学館の年間行事

- ◆特別展「棟方志功と青森の文人たち」
7月19日(土)～10月19日(日)
- ◆企画展「作家とどうぶつ」
12月6日(土)～3月22日(日)
※詳しい内容等については、ホームページでお知らせします。

青森県立図書館・青森県近代文学館

- 住所 〒030-0184 青森市荒川字藤戸119-7
- 電話番号
 - ◆一般閲覧室 : 017-729-4300
※貸出・返却・延長・予約のご連絡などはこちらへ。
 - ◆参考・郷土室 : 017-729-4311
※レファレンスや児童サービスについてのご連絡はこちらへ。
 - ◆図書館代表電話 : 017-739-4211
 - ◆図書館代表FAX : 017-739-8353
 - ◆近代文学館 : 017-739-2575
 - ◆音声案内 : 017-729-4111
- ホームページ <https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/>



図書館だより 第52号

令和7年7月23日発行

編集・発行 青森県立図書館